



平成 29 年 5 月臨時議会

正副議長・正副委員長交代 ー環境厚生委員長就任ー (福祉・環境・医療を担当)

5月16日の臨時会で村瀬議長、諸星副議長が辞任、本年度から施行された議会基本条例に基づき(立候補制導入)、横山紘一郎(政経会)若林志津子(日本共産党)両議員が議長に、佐野寿夫(公明会)渡辺佳正(日本共産党)両議員が副議長に立候補し選挙により、横山紘一郎新議長と佐野寿夫新副議長に決まりました。

常任委員会は本年度より2年の任期となり、政策立案をじっくりと行うこととしました。

正副委員長は次の通りです

- 総務文教員会
委員長 稲葉晃司 副委員長 小松快造
- 環境厚生委員会
委員長 望月芳将 副委員長 斉藤和文
- 産業都市委員会
委員長 佐野和彦 副委員長 植松健一
- 議会運営委員会
委員長 諏訪部孝敏 副委員長 中村憲一



議員研修

3月28日に東京で行われた、前武雄市長 樋渡啓祐氏を講師に『議会活性化のノウハウ』について研修を受けました。

議会の答弁で行政側がよく使う『検討します』という言葉に質問者(議員)は、しっかりと期限を付けさせることで、当局を逃がさないようにさせると緊張感が出てくるとの事でした。



会派視察 7月19日~21日 主なものをご報告します。

■佐賀県武雄市『図書館の指定管理』

【視察の収穫】

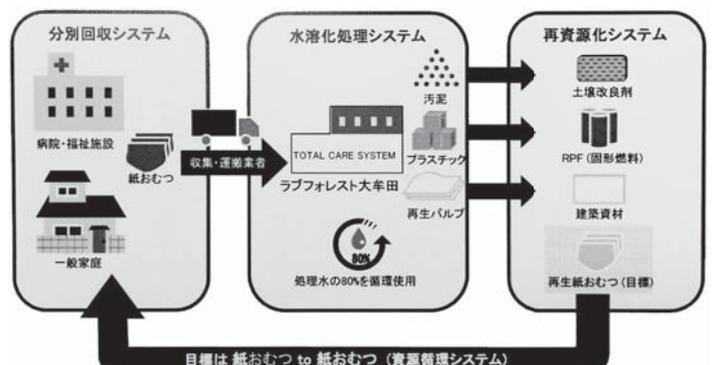
- ①新しい公共サービスの提供と言うことで、指定管理者や住民からの開館時間の延長や講座の充実や飲食の自由化などの提案を積極的に取り入れた。
- ②構想や企画の段階から指定管理者を決定していたので、スムーズにことが運んだ。



■福岡県大木町『紙おむつのリサイクル』大牟田市 工場見学

【視察の収穫】

- ①ごみゼロをめざす自治体であった。紙類や生ごみも分別していた。生ごみは自前のプラントでバイオマス発電を行っていた。
- ②紙おむつは分解されて、パルプとポリマー、プラスチックにされ再利用が可能な製品となっている。環境省もガイドラインを作成中とのことだった。



6月定例会の議論

(1) 議案審議で議論

浅間大社西側土地買収に伴う世界遺産のまちづくりについて
構想や計画が明確にならないまま、費用対効果も分からない。

→今後説明を求める

(2) 常任委員会で活発な議論

① 総務文教委員会

今回の調査事項 新学校給食センター

4月より稼働したが、生徒からの評価が悪いとの声があがる。味付けの問題や計量ミスで食べられないことがあった問題、虫の混入などあったことが、議会側の指摘のより発覚した。委託業者との契約状況や、問題意識の共有化や情報伝達の遅延などを指摘、今後も調査が必要である。

【政策課題】 世界遺産のまちづくりについて 決定



※本年度から議会基本条例施行により、各委員会で二年間に渡り調査研究を行う政策課題を設定した。

② 環境厚生委員会

今回の調査事項 清掃センターと最終処分場の現状と今後について

将来の建替えに備えて、ごみの発生抑制や分別リサイクルでの再資源化などで、処理量を減らすことで市単独で施設の更新をするのか、民間企業や近隣市との連携を模索するのか考える必要がある。

【政策課題】 市立病院の今後について 決定

③ 産業都市委員会

今回の調査事項 避難所運営について

自助・共助の精神で被災者に運営を任せるスタンスであることなどを、多くの市民に知ってもらうことが大事である。

青年会議所や商工会議所青年部、ライオンズなどで周知を図ることが必要ではないか。

また、観光客が増大するので、観光客向けの避難誘導が必要である。

【政策課題】 新業団地建設の可能性について 決定



◆◆◆◆ 望月芳将 プロフィール ◆◆◆◆

S52.8.12 生まれ
大宮小、二中、富士宮北高卒
平成12年帝京大学理工学部卒業
富士宮にて就職し、青年活動や
NPO活動に積極的に参加
H19.4 富士宮市議会議員初当選 29歳
H22.5 環境厚生委員会委員長

H23.2 予算審査特別委員長
H24.5 総務文教委員長
H27.5 議会運営委員長
H28.3 議会基本条例特別委員長
H28.5 結婚(マニフェスト達成)
H29.5 環境厚生委員会委員長

趣味はのんびりと温泉浴

